## スクリーニングシートの入力には、どのくらい時間がかかりますか?

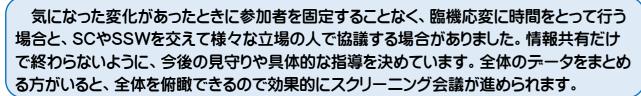
実践校では 10~20 分が最も多く 42.3%で、30 分以上は0%でした。教科の先生や養護の先生へも協力してもらい、項目ごとに分担すると効率よく取り組めます。



## スクリーニング会議は、どれくらいの回数を行うとよいですか?

少人数で学年会や打ち合わせの際に行っています。一週間では数字の変化はほとんどない ことが多いので、必要性を感じた時に行いました。また、定期的に行う会議も設定しました。

# スクリーニング会議は、どのように行っていますか?



### 取組に際して実施すると効果的なことはありますか?

保護者の皆様に、悩みや苦しみの早期発見だけでなく、成長を見とって認めることにもつながることを伝えておくと。一緒に子供たちの成長を見ていくことになり、効果的です。

# 「チーム力」「教師の目」の強化について効果があったことは何ですか?

ICTの活用により必要なデータにいつでもアクセスでき、SC・SSWにも共有して、面談や関係機関へつなぐことができました。また、同じ資料を基に多数で検討することで、経験の浅い教員が児童生徒を見とる視点を学び、より自信をもって子供と関わることできました。

### 実践してみて分かった効果や課題はありますか?

効果として、スクリーニングはその数字の変化から小さな成長も見つけることができ、その成長を認めて一緒に喜ぶことができました。課題としては、負担感があることです。実践の中で、ICT機器を活用した入力や会議の方法を工夫するなど改善の必要があります。

# ■ スクリーニングから広がる連携 ~社会に開かれた生徒指導へ~

スクリーニング等により子供の苦しみや問題の発見がなされた場合、基本的に学校を中心とした解決支援チームで対応します。問題によっては、そのアセスメントを基に、教育相談コーディネーターや教育相談担当、特別支援教育コーディネーター、SC、SSW、関係機関職員等で協働して、校内で連携をとる支援チームを拡大し、組織的な支援によって早期に対応することが望まれます。

また、虐待や暴力、窃盗等が疑われるケースなど、学校だけの対応では、指導に十分な効果を上げることが困難であると判断した場合は、ためらうことなく早期に警察や児童相談所等の関係機関に相談することが大切です。

学校は、教育機関であることを踏まえ、早めの相談を積極的に行うことで早期解決に努めましょう。

学校内そして地域・社会で連携することで、子供のちょっとした変化から小さな成長を見つけて認め合ったり、問題を早期に把握したりして、子供の安心と成長につなげる。こうした積み重ねが、すべての子供の居場所となる学校教育を創っていくのではないでしょうか。

#### 「生徒指導リーフ」No.10-2【実践編】

# すべての子供の居場所となる学校教育の推進

~「スクリーニング」を活用した未然防止・早期発見のための取組を通して~

生徒指導リーフ No.10-1 では、すべての子供を対象とした未然防止・早期発見のために「スクリーニング」の理論を紹介しました。本リーフは、その実践例と得られた効果をまとめました。子供たちが安心して学び、成長できる「すべての子供の居場所となる学校教育」への一助となれば幸いです。

# 1 すべての子供の「今」をとらえるために

スクリーニングは、既に個別の課題が認知されている 子供だけでなく、すべての子供を対象として行います。 子供のちょっとした変化等から「今」をとらえられれば、 「小さな成長」を一緒に喜んだり、問題行動等のリスク を見逃さずに適切な対応につなげたりすることができ ます。それには、教師の子供を見とる目と様々なケース にチームで対応する力が大切です。

スクリーニング・シートは、そのために、学年担当、 教科担任、部活動等の顧問等による複眼的な広い視野 に加えて、養護教諭、SC、SSW の専門的な視野からも とらえられる資料です。

スクリーニングの活動によって「チーム力」や「教師の目」の強化になることも期待されます。

①スクリーニング・シートに入力(担任・教科担任等) ・すべての子供を対象に、スクリーニング・シートの気にな る項目にチェックをする。

②スクリーニング会議(教職員がグループで行う)
・スクリーニング・シートをもとに、子供の状況や集団の傾向を見立てて、日常的な支援の方向性を決める。
★個別の課題が疑われる場合には「③ケース会議」を行う。

③ケース会議(個別の課題が疑われる場合)
・担任、管理職、養護教諭、SC等、多職種を交えたチームで支援の方向性を具体的に決定する。
・いじめ不登校対策委員会等を兼ねることもある。

④支援の実践(担任、学年、学校として)
・②や③で決めた支援にチームとして取り組む。

⑤取組の評価
・支援の成果と課題を評価し、新たな支援につなげる。
スクリーニングに基づく支援の手順

スクリーニングの効果



(上記スクリーニング・シートの観点) 生徒指導推進協議会及び生徒指導担当指導主事会・児童生徒支援対応教員研修にて検討した際に出された、教師が子供を見とる視点です。学校の実態に応じた項目や点数等の工夫をお願いします。

愛知県生徒指導推進協議会 愛知県教育委員会

1

# ①スクリーニング・シートに入力

すべての子供を対象にして、学校ごとに設定したシートの項目に数値を入力します。

様々な場面での子供たちの様子を チームで見守る意識が高まります



スクールカウンセラー等含めた教職員がスクリー ニング・シートにアクセス可能できるように設定

> スクールカウンセラー・スクー ルソーシャルワーカー等を含め て、いつでも子供たちの情報を確 認でき、把握した課題を複数の教 敞員で情報共有できました。





入力は、担当者を分担すると効果的でした。

- ・定期テスト…学年主任
- 出欠席状況・保健室への来室状況・保健室での様子 …養護教諭
- ・学校での様子、家庭から連絡があったこと …担任 • 副担任
- 各教科の取組・成績…各教科担任

総合点数

学習面、学級での様子、委員会・部活動での様子など、それ ぞれを見ている教員で入力分担し、生徒を様々な視点から 分析できるように観点を細分化した。

値の増減等が著しい部分を色分けした。 変化を見取るには、生活面で「0」が「1」になる「ゼロイチ」 に注目するとよい。ピックアップしてスクリーニング会議 をすることで、会議時間が3分の1になった。

美術 保体 技術・家庭

・ファイング・シートで変 ・ 大変 の ※変化や違和感 2点・人変気になる 1点: やや気になる 赤の数字は、「基準」シートで変更できます。

赤の数字は、「基準」シートで変更

学級に関する内容は、週 末の児童下校後に各担

12以下で1点or3低下で1点

※成績換算(3段階×教科)

欠席・遅刻・早退1回以上1点・2回以上2点 保健室3回以上で1点 年間合計30日以上2点・前学年より増1点

: 小さな成長や頑張っている(点数)

任が各自のPCを使って 共有しているファイルに 入力した。10分程度。

成績換算 欠席等 (養護教諭) 学級扣仟 専科等 専科等 総合点 前学年 学年末 給食 気になる

評定を学年末しか 出さないため、成 績については、学 年末の入力のみ。

欠席数に目を向 けるように、年間 欠席数がわかる ようにした。

週ごとの集計にしたた め、欠席・遅刻・早退は1 回以上で1点、保健室は 3回以上で1点とした。

書写や絵画作品などからも、 変化が見取れるので、スクー ルカウンセラーに協力しても らえると、専門的見地からも 見とりができる。

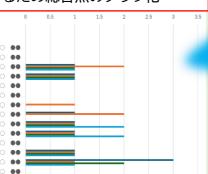
一緒にいる時間が長い担任 だけでなく、多くの立場で見 る項目も入れたい。ここで は、データ共有により、SSW 入力の欄も作成した。

引継ぎ資料としてもスクリー ニング・シートを活用

新しく転任して きた教職員にとっ ては、その学校の 子供たちを知るた めのツールになる と思います。

入力後、右のように グラフ化することで、 点数の変化が分かりや すくなり、これまで漠 然ととらえていた問題 を抱えていると予想さ れる子について、学年 全体で明確に把握する ことができました。

視覚的に変化を捉えやすくす るため総合点のグラフ化



より子供たちを知り、日常 の声掛けにつながります。



# 2スクリーニング会議

スクリーニング・シートをもとに、子供の状況や集団の 傾向を見立てて、日常的な支援の方向性を決めます。

小 学 校

気になる変化があった時

週の打ち合わせの際

学年中心に少人数で

・必要に応じて拡大

目的に向けてスムーズに 進められるように、できる だけ司会者は教育相談担 当等同一人物で固定



【実施例】

時

期

・既存の会議を活用

長期休業中

・対象児童生徒数や会議メンバーが少ない時…5~15分 多い時…1クラス5分程度

シートから事前にピックアップし会議を円滑化

- ①数値の高い子
- ②数値の変化の大きな子
- ③前回までは0だったが新たに数値が入った子

複数の教員で分析した 結果なので、資料として」 実用性・信頼性の高いも のになりました。



学級担任一人では気づけなかった子供の 変化も、複数の教師の目で見とれるので、 担任一人で抱え込むことなくチームとして 児童生徒が抱える問題に対応できました。

児童生徒の支援方法について教員間 で意見交換をすることが増え、多様な 支援の方法を学ぶ機会となりました。



見つけにくいネット上のトラブルによる 悩みも、早期発見につなげられます。

中 学 校

気になる変化があった時

※成績も反映できる時期

・学年に関わる教職員で

学期に一度

・全教職員で

子供たちが自分の気持ちを数値化して入れ たり、家庭から相談を受けた内容をふまえた りするなど、実践を重ねながら工夫改善



名の場 スクリーニング・シート (例)は、こちらからダ ウンロードできます。

③ケース会議

⑤取組の評価

④支援の実践